

令和3年度健康づくり推進部会の活動報告

県目標	健康寿命の延伸に向けた意識醸成と行動変容の促進
須崎管内 重点目標	1 生活習慣病予防に向けたポピュレーションアプローチの強化 2 血管病重症化予防対策の推進

■ 健康づくり推進部会〔地域・職域連携推進協議会〕（年2回開催）

日本一の健康長寿県構想（第4期）及びよさこい健康プラン21（第4期）における県目標である「健康寿命の延伸に向けた意識醸成と行動変容の促進」を目指し、部会内で活動内容の共有・検討を行い、協働して推進する

第1回 (R3.7.28)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度の活動計画について ・壮年期の健康づくりへのアプローチ方法について
第2回 (R4.1.書面)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度の活動報告及び成果・課題について ・令和4年度の取組についての意見交換

■ 令和3年度の活動計画

<p>1 生活習慣病予防に向けたポピュレーションアプローチの強化</p> <p>(1) 地域と職域が連携した健康づくりの取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職域関係者等の事業連携について検討及び実践 ・健康づくりに関心の低い者に対して生活習慣改善に向けた行動変容を促す取組の促進 <p>(2) 事業所での主体的な健康づくり（健康経営）の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職場の健康づくり応援研修会の開催 ・健康管理担当者サポート事業を活用した健康経営の取組促進 <p>2 血管病重症化予防対策の推進</p> <p>(1) 特定健診受診率・特定保健指導実施率の向上対策の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定健診対象前世代や受診率の低い40～50歳代への受診勧奨 <p>(2) 高知県糖尿病性腎症重症化予防プログラムに基づく取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重症化リスクの高い者への対応に向けた地域と医療の連携強化 <p>(3) 循環器病対策（高血圧・たばこ対策）の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・減塩や血圧管理に関する啓発チラシ等を活用した取組の推進 ・受動喫煙防止の周知と禁煙サポートの体制づくりの推進
--

■ 令和2・3年度の取組と成果及び今後の方向性等について

別紙：課題等共有シートを参照

◆健康づくり推進部会 課題等共有シート【1 生活習慣病予防に向けたポピュレーションアプローチの強化】

現状及び課題	令和2・3年度の部会(各機関)の取組と成果	意見又は課題に感じていること	今後の方向性
<p>■壮年期の男性の死亡率 ・全死因の死亡率は全国及び県よりも高く、約6割は生活習慣病が占めている 【全死因】管内441.2(県399.7 全国341.4) (出典:健康づくり支援システム)</p> <p>■管内事業所の健康づくりの取組状況 ・職員の健診を毎年実施:95.2% ・必要な人に保健指導を実施:34.3%、 ・喫煙率:男性48.5% 女性17.4% ・「健康経営」を知らない:44.8% ・高知家健康パスポートを知っているが取り組みめない:51.4% (出典:令和2年高幡地域事業所の健康経営実態調査) ・管内は中小規模事業所が多く、健診に関することとどまり、従業員の健康づくり(健康経営)に取り組めていない事業所が多い</p> <p>■高知県ワークライフバランス推進企業認証[健康経営部門]の取得状況 【R2年度】20事業所(R3.3月時点) (出典:雇用労働政策課ワークライフバランス推進企業一覧)</p> <p>■健康パスポートI取得数(R3.3月時点) 【管内】3,719人(内 男性1,120人) *人口カバー率:8.3% 【県】44,911人(内 男性15,255人) *人口カバー率:7.7%</p>	<p>(1)地域と職域が連携した健康づくりの取組 ○職域関係者事業検討会の開催:年2回(協会けんぽ、地産保、福祉保健所) ・職域関係者等の事業連携について検討 ○職域関係者連絡会の開催:年3回(労働基準協会主催) ・R2,3年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止となり、6月の労働安全説明会、9月の衛生週間説明会は事業主等へ健康経営等に関する資料を労働基準協会を通じて配布 ○事業所健診会場等を活用した高知家健康パスポートの取得促進や市町事業の周知 ・地産保、四万十町:事業主相談で会社の健康課題を説明するとともに町事業を周知 ・津野町:歯科衛生士による歯科保健指導(372名)及び高知家健康パスポート発行、津野町マイレージ発行 ・四万十町:事業所健診会場で高知家健康パスポート発行(146冊)、減塩の啓発、しまんと健康ステーションの周知</p> <p>(2)事業所での主体的な健康づくり(健康経営)の取組 ○職場の健康づくり応援研修会の開催(協会けんぽと福祉保健所の共催) ・(参加者)R2年度:41名 R3年度:38名 ○健康管理担当者サポート事業で事業所を訪問し、健康経営の取組促進 ・市町担当者と福祉保健所で訪問し、市町事業を職域に周知 R2年度:3市町11事業所 R3年度:4市町17事業所(須崎市6件、中土佐町3件、津野町1件、四万十町7件) ○各機関の独自の取組(健康経営の取組支援) ・四万十町:しまんと健康ステーションを職域に展開 R2年度:(株)ハマヤに貸し出し R3年度:くぼかわ病院で36名に貸し出し、12名が継続して利用中</p> <p><成果> *職場の健康づくり応援研修会や各機関の事業等、連携事業を通じて管内の事業主等へ健康経営が周知されつつあり、「高知県ワークライフバランス推進企業認証制度[健康経営部門](平成30年度開始)」の取得事業所の増加につながっている【R3年度:25事業所(R3.12月時点)】 *健康づくりに関心の低い壮年期へのアプローチ方法のひとつとして、市町が事業所の健康経営を支援する取組が増加した</p>	<p>(1)地域と職域が連携した健康づくりの取組 【地産保】 ○各市町の健康づくりに関する取組をマップ化したものがある ば、労働者に紹介しやすい。 ○令和2年度より健診結果が悪くなっている傾向がみられ、社食の閉鎖等で食生活に偏りがあるとの声もある。バランス食の選択の仕方とともに、配達弁当の業者に対する助言も必要かと感じている。</p> <p>【歯科衛生士会】 ○事業所健診に入り、自身の口腔のことを知らない人が多いと感じた。他の事業所健診にも広がってほしいと思う。</p> <p>【須崎市】 ○福祉保健所が訪問した事業所の様子を市に情報提供してもらえたら、今後の保健事業に活かしていきたい。</p> <p>【梶原町】 ○若い世代の健康に対する意識が低い。生活習慣病改善のためにも、職域との連携が必要。</p> <p>【四万十町】 ○働きざかり世代は事業所の指示で健康づくりに取り組んでおり、活動量計にこだわらず、各世代にあった取組の検討が必要。</p> <p>(2)事業所での主体的な健康づくり(健康経営)の取組 【商工会】 ○職場内で脳梗塞で倒れた職員がいたため、職員の健康情報の把握に努めていきたい。また、アクサ生命と連携した健康経営について他の事業所にも周知していきたい。</p> <p><高知家健康パスポートのリニューアル(アプリメインへ移行)について> 【須崎市】 ○高齢者にはサポートが必要だが、若者はアプリが便利なので、健診の中などで広めていきたい。</p> <p>【中土佐町】 ○簡易版について早めに提示してもらいたい。</p> <p>【梶原町】 ○障害があったり、経済的に厳しい人はスマホに替えられないので、そこは課題ではないか。</p> <p>【津野町】 ○町のマイレージ事業が分かりやすいので継続する。</p> <p>【四万十町】 ○特定のアプリしかダウンロードできないスマホもあるため、紙媒体は必要ではないか。</p> <p>【協会けんぽ】 ○協会けんぽの加入者は、世代的にスマホアプリで健康づくりに取り組むことの抵抗感が少ないと思われる。同様のアプリは様々な企業からも提供されており、既に別のアプリを使用している場合もある。</p>	<p>(1)生活習慣病予防の行動変容につながる取組の促進 *高知家健康チャレンジ、高知家健康パスポート等を活用した周知啓発の強化 【婦人会】 ○食改とコラボした啓発事業の実施</p> <p>【中土佐町】 ○高知家健康パスポートの周知の強化及び町マイレージ事業(R4リニューアル予定)の周知</p> <p>(2)地域と職域が連携した健康づくりの取組 *各市町の保健サービスをプログラム化することで、職域における活用を促進 【労働基準監督署】 ○事業所訪問時における地域の取組紹介と参加への勧奨を実施</p> <p>【地産保】 ○市町の保健サービスに関する情報等を小規模の事業所に周知</p> <p>(3)事業所での主体的な健康づくり(健康経営)の取組 *これまで介入したことがない職業団体や小規模事業所が集まる場で健康経営について周知 【労働基準監督署】 ○安全週間等で事業所が主体となって労働者の健康づくりに取り組む必要性の周知</p> <p>【農協】 ○事業所健診で歯科健診を含めた健康づくりの取組を予定</p> <p>【地産保】 ○労働安全衛生法の変更内容等を小規模の事業所に周知</p>

◆健康づくり推進部会 課題等共有シート【2 血管病重症化予防対策の推進】

現状及び課題	令和2・3年度の部会(各機関)の取組と成果	意見又は課題に感じていること	今後の方向性
<p>■特定健診受診率、特定保健指導実施率及び有所見者の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定健診受診率(国保) R元管内:44.8%[40～59歳29.8%] (県:37.7%、全国:38.0%) (出典:R元法定報告値) ・特定保健指導実施率(国保) R元管内:31.6%(県:28.4%、全国:29.3%) (出典:R元法定報告値) ・血圧、血糖、脂質の有所見率が全国及び県より高い管内7.6% 県7.4% 全国6.0% <p>■高知県糖尿病性腎症重症化予防プログラムの取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未治療ハイリスク者及び治療中断者への介入割合は年々増加傾向であり、治療中断者の受診割合は県平均より高くなっている。 ・プログラム I 未治療ハイリスク者の受診割合【R元.9月～R2.8月】管内28.6%(県41.8%) ・プログラム I 治療中断者の受診割合【R2.4月～R3.3月】管内40.0%(県36.1%) 	<p>(1)特定健診受診率・特定保健指導実施率の向上対策の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ○労働基準監督署:ホームページを活用した受診勧奨を実施 ○協会けんぽ:郵送血液検査を39歳に実施 Webを活用し、保健指導実施の選択肢を増やす 大型商業施設で特定健診とがん検診の合同集団健診の実施 外部委託による保健指導の実施 ○地産保:遠隔面談の体制づくりを行い、R4.1月から運用開始 ○建設業協会:事業所の方がパンフレットを見られるように協会に置く ○農協:保健指導の取組強化により利用者が増加した。 ○全市町:新型コロナ対策として健診を予約制にして実施 ○須崎市:30代後半を対象とした郵送健診の実施(35～39歳:47名利用) 受診勧奨をナッジ理論を活用した業者に変更 ○四万十町:QRコードを活用した健診の申込み(12名) 受診率向上に実績があるなでこの会の電話勧奨の活用(31名のうち、6名申込み) <p>(2)高知県糖尿病性腎症重症化予防プログラムに基づく取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ○栄養士会:県と協働して医療機関における外来栄養食事指導推進事業を実施 ○須崎市:【プログラム I】訪問により受診につなげた【プログラム II】優先度の高い5人訪問 ○中土佐町:【プログラム II】対象者1名を訪問 ○構原町:【プログラム I】対象者に訪問等で受診勧奨【プログラム II】町内の医療機関と連携し取り組んでいる ○津野町:ハイリスク者に手紙や電話等で参加勧奨を実施 ○四万十町:【プログラム I】対象者に電話や訪問で受診勧奨【プログラム II】くぼかわ病院と連携し、定期的な連絡会を開催 <p>(3)循環器病対策(高血圧・たばこ対策)の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ○協会けんぽ:健診受診時及び受診後に高血圧の方に医療機関の受診勧奨 ○地産保:ハイリスク労働者が保健指導の受診機会を失わないような配慮を事業主に依頼 ○スポーツクラブ:健康づくり教室等の開催及びノルディックウォーキングの推進 ○全市町:推定塩分摂取量測定事業を活用した減塩の啓発 ○須崎市:献血を受けた方や保育園の年長児の家庭に減塩の啓発資材を配布 ○中土佐町:健診会場や量販店の店頭で減塩及び野菜摂取の啓発 ○津野町:喫煙者・飲酒者に健診会場で保健指導を実施(148名) ○四万十町:推定塩分摂取量測定事業を活用して減塩のチラシを作成し、受診勧奨に利用 ○とさ禁煙サポーターズフォローアップ講習会の開催(参加者)R2年度:33名 R3年度:30名 <p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> * 新型コロナをきっかけに、Webによる保健指導やQRコードを活用した申込みなどの取組が始まった * 新型コロナの影響による受診機会の減少や受診控えへの対策として、個別健診の受診勧奨や集団健診を予約制にする等の工夫がみられた * 地域と医療が連携することで、重症化予防の取組が進み始めた 	<p>(1)特定健診受診率・特定保健指導実施率の向上対策の取組</p> <p>【協会けんぽ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○特定保健指導は忙しいと断られたり、健診後のことは個人に任せるという事業所が多い。 ○被扶養者の受診率が低いことが課題。 ○壮年期の血糖有所見者が全国と比べて非常に高い。 <p>【高岡郡医師会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○不健康となる原因の第1位と言われている「社会的不参加」に対して、社会的な活動と健診の受診勧奨を結びつけた活動を実施できたらと思う。 <p>【農協】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○令和3年度に重点をおいた保健指導実施は、本人への意識づけも含め、取組ができてよかった。今後は保健指導該当者を減少させるために必要な取組を考えなければならない。 <p>【婦人会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○30代後半の方に健診会場に来ていただけるような体制をとらないと、4代になって特定健診を受けるのは難しいのではないかと。 <p>【須崎市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○がん検診では、職場や病院での検診状況が把握できず、市全体でどれくらい受診しているかの把握が困難。 <p>【構原町】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○予約制の健診が好評だった。今後も受診しやすい健診体制を考えていくことが必要。 <p>(2)高知県糖尿病性腎症重症化予防プログラムに基づく取組</p> <p>【協会けんぽ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○医師から指示がある者と保険者がどのように関わっていくべきかは課題がある。 <p>【須崎市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○プログラムを進めていくには医療機関の看護師の生活指導や管理栄養士による栄養食事指導を充実させていくことも重要。 <p>【全市町】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○県と市町と医療機関の3者が協働で重症化予防プログラムに取り組む体制づくりが必要。 <p>(3)循環器病対策(高血圧・たばこ対策)の取組</p> <p>【地産保】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○須崎管内は多量飲酒者が多い傾向。試食会で肝臓にやさしい一品や適正飲酒のサンプルを示してはどうか。 ⇒(栄養士会)地域のイベント等でテーマに合わせた取組を行っているのを、声をかけてほしい。 <p>【農協】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○コロナ禍で飲酒の機会が減り、喫煙者も減少している。 <p>【スポーツクラブ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○40・50歳代に運動教室を利用してもらえるように考えていきたい。 <p>【中土佐町】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○アルコールに関して、心の問題や経済的なことで苦勞している方への支援が課題。 	<p>(1)特定健診受診率・特定保健指導実施率の向上対策の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> * 特定健診対象前世代や受診率の低い40・50歳代への受診勧奨の強化 <p>【婦人会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○受診勧奨等で働きざかり世代に重点を置いて呼びかけを実施 <p>【中土佐町】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○コロナ禍でも受診は必要であることや、集団・個別健診の選択肢があること、安全な環境(短時間、少人数)でも受診できること等を周知 <p>(2)高知県糖尿病性腎症重症化予防プログラムに基づく取組</p> <ul style="list-style-type: none"> * 重症化リスクの高い者への対応に向けた地域と医療の連携強化 <p>【地産保】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○治療と仕事の両立支援において、糖尿病の重症化予防・透析患者(労働者)の離職防止を意識した取組を実施 <p>(3)循環器病対策(高血圧・たばこ対策)の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> * 壮年期の循環器病対策が、周知にとどまらず、行動変容(減塩、禁煙等)につながるような保健指導の充実 <p>【須崎市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○健康づくりの動機づけとして有効な推定塩分摂取量測定事業を継続実施